

2024年取組一覧(アフリカ)

エクアドル

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日系企業PR等

グアテマラ

天皇誕生日祝賀レセプションでの日本製品紹介

コンボ

天皇誕生日祝賀レセプション時における日本産水産品の魅力発信

チュニジア

日本食品の紹介

ボリビア

日本産水産品及び日本酒をアピールした天皇誕生日祝賀レセプション

【日本企業の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日系企業PR等(エクアドル)

在エクアドル大使館

開催日： 令和6年2月23日

場 所： 在エクアドル大使公邸

主催(共催)：大使館

協力／参加企業・自治体：エクアドル進出日系企業等17団体

【概要】

- 令和6年2月23日、大使公邸において開催された天皇誕生日レセプションの機会を利用し、日本企業製品や日本酒類(日本酒、泡盛、ウイスキー等)の展示を行った。
- 自動車メーカーを中心に複数の企業のほか、当地主要産品であるバナナ、冷凍ブロッコリー、カカオ加工品等を扱う企業が参加し、提供品の配布等を行った。
- 同レセプションには、当地政府関係者(外務副大臣、経済財務大臣、保健大臣、文化大臣、国家司法裁判所長官、選挙管理委員会委員長等)、各国の在外公館、企業関係者等の約360名の来訪者があり、多くのハイレベルの招待客に対し、当地日本企業の活動や日本製品の魅力を幅広く示す機会となった。



【日本企業の広報】 天皇誕生日祝賀レセプションでの日本製品紹介(グアテマラ)

開催日: 令和6年2月22日

場 所: グアテマラ市内ホテル(カミノ・レアル)

主催(共催): 大使館

協力/参加企業・自治体: 伊藤忠商事、丸紅、日本製品取扱いグアテマラ企業

在グアテマラ大使館

【概要】

- レセプション会場に、コーヒー、日野トラック、日産、スズキ、ホンダ、ヤマハ、CANON、ニプロ等の製品を展示した。車両7台、バイク2台を含む展示は政府ハイレベルや富裕層の来場者に対して日本メーカーの製品をアピールする絶好の機会となった上、日本政府が日本関連企業を応援しているというメッセージを伝達することができた。
- また、公邸料理人による和食(和牛、天ぷら)、寿司、日本酒・ウイスキーコーナー、当地ラーメン店の試食ブースも設け、総合的な日本紹介も行った。
- 大使スピーチの中で、日本企業による最近の大規模投資(矢崎ノースアメリカ社)を紹介した他、ニアショアリングの文脈で、日本企業によるグアテマラへの投資の魅力、両国の貿易・ビジネス関係の強化につき紹介した。
- 閣僚(財務大臣、通信インフラ大臣、社会開発大臣、労働大臣、ラミレス外務次官(外務大臣代理))の他、政府機関の長等の参加を得た。出席者390名。
- 式典部分及び企業ブース展開の様子は、4つのTV局で報道された
- 事後、複数の日本車取り扱い企業から、レセプション参加者からの注文があり、来年も展示を行いたいとの声が寄せられた。



自動車展示(日野トラック)



自動車展示(いすゞ、日産)



コーヒー輸出、CSR活動紹介ブース
(伊藤忠商事関連)

【農林水産物・食品の広報】

天皇誕生日祝賀レセプション時における日本産水産品の魅力発信(コソボ)

在コソボ大使館(兼勤駐在官事務所)

開催日: 令和6年2月14日

場 所: ホテル・エメラルド

主 催: 在コソボ日本国大使館

協 力: Sushi Co(当地日本食レストラン)

【概要】

本省からの本件補正予算事業の指示を受け、当地での実施可能性を検討した結果、機会としては、直近の天皇誕生日祝賀レセプションが適当であると判断した。

他方、当館には大使公邸がなく、公邸料理人もいないため、調達する日本産水産品の調理のため、当館が会食等で利用している日本食レストラン(Sushi Co。トルコが本店のチェーン店)に協力を打診し、実施可能性の調査を依頼したところ、欧州経由で当地にて入手可能な日本産水産品は、ブリとホタテであることが判明し、右調達と調理を併せ委託することで合意。同店の提案により、調理(会場での実演も兼ねた寿司・刺身の提供)をイスタンブールから日本人シェフを呼び寄せて行うこととなった。

レセプションでは、ホテル側メニューにも一部和食系の料理(カリフォルニア・ロール、サーモンの刺身、牛のたたき、酢の物等)を含めたが、本件事業で調達した食材を日本人シェフが調理したことで、質と味に格段の相違があり、来客多数が列を作り、当国高官や外交団を含む多数の参加者から絶賛のコメントに接した(他のレセプションと比べてもthe best, legendary等の形容)。(参加者数:約150名)



【農林水産物・食品の広報】

日本食品の紹介(チュニジア)

開催日: 令和6年7月3日ー5日

場 所: クラム・チュニス展示・国際貿易センター

主催(共催): チュニジア観光レストラン連盟(FTRT)

協力/参加企業・自治体: Tea Corner(日本茶の試飲提供)

【出展概要】

アフリカ国際食品展示会 (IFSA アフリカ) は、世界中(主にチュニジア)の食品業界の食品生産者、製造業者、販売業者、サプライヤーなど、幅広い出展者が集まる年次イベントで、通商・輸出促進省、産業・エネルギー・鉱物省の後援で開催された。

食品はもとより、食に関する製品やサービスを展示することにより、商談や市場開拓の機会を提供するイベントである。本年は、その一部に国際コーナーが設置され、当館は我が国農林水産省が作成した日本食品のパンフレットと「にぽにか」の日本食特集号、JNTO観光パンフレットを配布。また、G7サミット各種会合開催地(宮崎・広島)関連の食品紹介動画を放映し、日本食サンプルの展示や日本茶の試飲も実施した。

加えて、当地進出企業であるオリーブオイル製造会社のSARAYA Natural Products Tunisiaに出展を呼びかけ、日本大使館ブース付近に設置された。

- 日本食ファンであるという来場者が多く、当地でも人気がある寿司以外に天ぷら、すき焼き、焼き鳥なども食べたいとの声があった。
- ディスプレイされた食品サンプルが好評で、本物そっくりな食品に感心した後、パンフレットを持ち帰る来場者が大半を占めていた。試食を希望する声も多数。
- 日本茶以外の食品は提供しなかったが、チュニジアのどこで日本食を食べることが出来るのかなどの質問が多数寄せられた。
- 日本食に関する商取引に興味のある来場者にはJETROパリを紹介。
- 来場者の多くはチュニジア人であったが、メジャーな日本食以外の認知向上に役立った。
- 現地テレビ、ラジオ3社からインタビューを受け、各メディアや関係機関・企業のFacebook日本ブースの出展模様が掲載された。(報道ぶり右参照)。

<https://www.ifsaafrica.com/>

在チュニジア日本国大使館

日本ブース全景



当館Facebook



APIA - 農業投資促進機構Facebookに掲載

【農林水産物・食品の広報】

日本産水産品及び日本酒をアピールした天皇誕生日祝賀レセプション(ボリビア)

開催日: 令和6年2月23日

場所: 在ボリビア大公邸

主催: 在ボリビア大

【概要】

2月23日、在ボリビア大使館主催の公邸における天皇誕生日レセプションにて、日本産水産品を用いたメニューを含めた日本食のbuffetを提供。

当日は約320名以上の政府、外交団、企業関係者らが来場し、3か所すべてのbuffetコーナーに列ができるほど盛況であった。



〈buffetでの水産品PR〉

#comamos JAPÓN!

対外発信用に「#食べるぜニッポン」の西語版「#comamos JAPÓN」を作成。現地報道では、日本食についても言及された。

El "marisco japonés" se utiliza como ingrediente en la cocina japonesa actual.



PESCADO:
HAMACHI
X
TERIYAKI



〈buffetでの水産品PR〉



〈日本酒ブース〉



日本酒コーナーにおいては、提供する日本酒の説明(パネル展示)のほか、buffetメニュー(各水産品)に合わせた日本酒とのペアリングを提案。多くの人々が日本食文化を知る絶好の機会となり、ボリビアにおいて日本酒が購入可能な場所について等の質問が相次いだ。

〈日本酒×水産品ペアリング紹介〉



MARISCO:
Vieira
X
SAKE:
Myōri